



# とっとり 市議会だより

国の重要文化財【仁風閣】

No.127  
12月  
定例会号

## 12月定例会のあらまし

### 正副議長を改選

合併後初の定例会は12月7日に開会。初日は、冒頭に議員増員に伴う議席の指定及び変更・常任委員及び議会運営委員の選任を行った後、一般会計補正予算や鳥取市水道水源保全条例の制定など30議案の提案理由説明を受けました。

9・10・13・14・16・17日には37人の議員が市政一般について質問を行い、活発な議論が展開されました。

20・21日には常任委員会を開催し、それぞれ付託された議案や請願・陳情について審査しました。

最終日の24日には、各委員会の委員長が委員会審査の結果を報告。その後、議案や請願などが採決され、議案30件、議員提出議案4件については原案どおり可決・承認・同意されました。また、正副議長の辞職に伴う正副議長選挙を行い、議長に福田泰昌議員、副議長に山崎健一議員が選ばれました。

## 1月臨時会のあらまし

### 新しい議会の構成を決定

1月14日に開会。常任委員の所属変更、議会運営委員等の選任、東部広域行政管理組合議会議員等の選挙を行いました。

合併に伴う新議員紹介 ..... 2P

会派・議員の紹介 ..... 3P

新しい議会の構成決まる ... 4P

一般質問 ..... 6P

委員会等の活動 ..... 14P

人事・陳情 ..... 15P

提出議案とその結果 ..... 16P

# 合併に伴う新議員の紹介

50音順

平成16年11月1日、9市町村の合併により新しい鳥取市が誕生しました。これに伴い、旧8町村から計12名の議員が選出されましたので紹介します。



おかだ こうしろう  
岡田浩四郎  
鹿野選挙区



うえがみ みつはる  
上紙 光春  
用瀬選挙区



ありまつ かずのり  
有松 数紀  
国府選挙区



たにくち てるお  
谷口 輝男  
佐治選挙区



しもむら よしひる  
下村 佳弘  
気高選挙区



かわむら ゆきやす  
河村 行康  
河原選挙区



ふくた かんゆう  
福田 幹右  
国府選挙区



にしだ まさひと  
西田 正人  
河原選挙区



なかしま のりお  
中島 規夫  
青谷選挙区



ゆぐち ふみあき  
湯口 史章  
気高選挙区



やまべ こういちろう  
山部紘一郎  
福部選挙区



ふさやす ひかる  
房安 光  
青谷選挙区

# 会派・議員の紹介

## 新政会



個性ある豊かな市民生活を  
確かなものにする、夢ある鳥取市の建設

会長 村山 洋一  
副会長 山下 武雄  
幹事長 高見 則夫  
政調会長 吉田 博幸  
本多 達郎  
橋尾 泰博  
国富 三郎

## こう風



夢があり、誇りもてる20万都市の  
実現を目指す政策集団

会長 上杉 栄一  
副会長 松本 信光  
幹事長 秋口 政俊  
政調会長 房安 光  
三谷 伝  
入江 順子  
森本 正行  
松田 重実  
中西 照典  
鶴巻 順

## 清和会



20万市民のために！  
新鳥取市を隔々まで幅広く見つめて！

会長 山部 紘一郎  
副会長 上紙 光春  
副会長 谷口 輝男  
幹事長 中島 規夫  
政調会長 岡田 浩四郎  
湯口 史章 有松 数紀  
福田 幹右 河村 行康  
下村 佳弘 西田 正人  
福田 泰昌

## 共産党



市民の願いとどけ、  
市政をチエックします。

団長 村口 英子  
幹事長 角谷 敏男

## 民世会



市民とともに夢のある  
世の中を作る会派、民世会

会長 上田 孝春  
幹事長 両川 洋々  
藤原 繁義

## 公明党



現場第一主義で、  
市民とともに歩む公明党

団長 武田 えみ子  
幹事長 山崎 健一  
谷口 秀夫  
田村 繁巳  
桑田 達也

## 無所属



河越 良一

## 市政改革クラブ

市政がもっと市民の考えを  
大切にする活動に取り組んでいます



20万都市の市民の立場で  
ジャンボな行動

代表 谷口 満  
幹事長 寺垣 健二

## 市民クラブ



自由を愛し、  
民主主義を尊重するために！

代表 佐々木 紘一  
幹事長 森田 紘一郎

# の構成決まる



議長  
福田 泰昌

12月定例会では正・副議長選挙、1月臨時会では常任委員会の所属変更、議会運営委員会・特別委員会の委員選任が行われ、新しい議会の構成が決まりました。各委員会の新しい委員を紹介します。（委員は議席順）

市議会では、本会議・委員会活動などを通じて、市民の皆様の声を反映し、ますます開かれた議会の構築に努めていきます。

## 議会運営委員会

議会の運営、会議規則・委員会に関する条例等及び議長との諮問に関する事項についての調査・検討を行うなど、議会の円滑な運営を図ります。



田村 繁巳委員 岡田浩四郎委員 中島 規夫委員 村山 洋一副委員長 上杉 栄一委員長

## 常任委員会

議案や請願・陳情の審査等を行うため、条例で設けられています。各常任委員会は、それぞれ専門的に所管事項を調査・審査しています。

### 総務委員会

総務部、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会の所管事項及び他の常任委員会の所管に属しない事項



松田 重実委員 河村 行康委員 下村 佳弘委員 入江 順子副委員長 高見 則夫委員長

### 企画福祉委員会

企画推進部、福祉保健部、病院事業及び介護老人保健施設事業の所管事項



桑田 達也委員 岡田浩四郎委員 西田 正人委員 中島 規夫副委員長 松本 信光委員長

### 文教経済委員会

経済観光部、農林水産部、教育委員会及び農業委員会の所管事項



谷口 秀夫委員 河越 良二委員 有松 数紀委員 上紙 光春副委員長 武田えみ子委員長

### 建設水道委員会

都市整備部、環境下水道部及び水道事業の所管事項



田村 繁巳委員 福田 幹右委員 湯口 史章委員 山下 武雄副委員長 上田 孝春委員長

# 新しい議会



副議長  
山崎 健一

## 特別委員会

特別委員会は、必要に応じ特定の事項を調査・審査するために設置される委員会です。

中心市街地活性化に関する調査  
特別委員会

(委員長)橋尾 泰博

(副委員長)両川 洋々

(委員)湯口 史章、岡田浩四郎

谷口 秀夫、上紙 光春

中西 照典、寺垣 健二

森田紘一郎、入江 順子

松本 信光、国富 三郎

村口 英子



佐々木紘一委員



高見 則夫委員



角谷 敏男委員



両川 洋々委員



寺垣 健二委員



秋口 政俊委員



村口 英子委員



佐々木紘一委員



藤原 繁義委員



谷口 満委員



山部紘一郎委員



山崎 健一委員



橋尾 泰博委員



吉田 博幸委員



角谷 敏男委員



両川 洋々委員



秋口 政俊委員



鶴巻 順委員



本多 達郎委員



上杉 栄一委員



福田 泰昌委員



国富 三郎委員



中西 照典委員



房安 光委員



三谷 伝委員



村山 洋一委員



森田紘一郎委員



寺垣 健二委員



森本 正行委員



谷口 輝男委員

# 一般質問

合併後初となる12月定例会の一般質問は、12月9日から17日まで休会日を除く6日間にわたり、37人の議員が延べ96項目の質問を行いました。

本誌では、各議員の質問の中からそれぞれ一項目について質問・答弁の要旨を掲載しています。

議事録の全文は、市議会のホームページでも閲覧できますのでご利用下さい。

合併後の課題	6～7P
教育施策	8P
地域振興	9P
防災対策	10P
高齢者福祉	11P
観光関連	11P
財政問題	12P
水道問題	12～13P
その他	13P

## 合併後の課題

### 新市のまちづくり

山部紘一郎（清和会）

**問** 新たな制度設計と制度の見直しには、旧町村の良

い取り組みを積極的に取り入れることが必要と考えるが、20万都市のまちづくりについて、市長の決意と旧町村部の振興方策について問う。

**答**（市長）「夢のある20万都市づくりビジョン」に基づき「人が輝きまちがきらめく快適・環境都市鳥取」ということで、一人一人の人を大切に、その活躍、活動を支えていき、それが全

体となつて地域が輝くような地域にしたい。

地域審議会が設置されており、地域振興に関連する幅広い議論が行われ、市の施策に反映されていくことを期待している。

各地域とも特色のある美しい自然・歴史・文化、地場産業などの個性があり、合併協議の過程でも、旧町村の制度のよい点も取り入れながら事務事業調整を行ってきた。今後もそうしていきたいと思っている。

## 窓口業務の拡充

橋尾 泰博（新政会）

**問** 合併に伴い、駅南庁舎

に窓口業務を集約しワンストップサービスが実現したが、さらに便利で使いやすいよう改善を図っていくべきという観点から、時間延長・休日開庁をすることを考えている。また、本庁舎（行政サービスコーナー）の業務拡大はできないか。

**答**（市長）行政サービスコー

## 新市まちづくり計画

有松 数紀（清和会）

**問** 新市まちづくり計画及び第8次鳥取市総合計画策

ナーは駅南庁舎がワンストップサービスになった関係で本庁舎に移転した。土・日及び水曜日もオープンすることで、サービスを充実したと考えている。あわせて、土・日に若桜街道筋にぎわいをつくり出すという効果も期待している。

窓口の駅南庁舎への移転について、あるいは行政サービスコーナーの利用については、これからも十分に周知していきたい。

駅南庁舎の開庁時間の延長と土・日の窓口業務の開設は、人員の配置・経費の問題等、今の体制で少し様子を見る必要がある。

定において、地域の実情を考慮するということの具体的な手法と、そのことが公平なものとして市民全体に理解を得ることが大切と考えるが、市長の見解は。

**答**（市長）地域の実情を考



さじアストロパーク（佐治）



流しびなマラニック（用瀬）



紙すき体験（青谷）

慮するということは、それぞれの市町村がこれまで積み重ねてきた取り組み、歴史や文化や伝統を考慮することが一番重要と考える。

まちづくり計画に基づき第8次総合計画において、それぞれの地域の持つ個性を伸ばしていけるような取り組みをしつかりやりた

い。（企画調整監）総合計画の策定の中で、市内全域で各地域において地域づくりの懇談会を開催したいと考えている。市民4,000人を対象とする市民アンケート調査の実施、まちづくりワークショップの開催、市民参画事業などを通じて、広く市民の意向を把握したいと考えている。

## 殿ダム建設促進

福田 幹右（清和会）

**問** 殿ダム周辺整備計画の早期樹立について、新鳥取市に引き継がれ、どのように作業を進めるのか、また、平成18年度本体着工・平成23年完成という計画の見直しも含め、市長の所見を伺う。

**答**（市長）周辺整備については、鳥取県が作成した殿

ダム水源地域計画により、ふるさとづくり事業ということで整備することにされており、平成16年度から平成17年度の2力年を計画の策定期間、検討期間として、殿ダム周辺整備計画検討委員会で策定のための取り組みをしている。

これからの推進体制としては、都市建設課を中心に、総合支所の担当課、本庁内の関係各課による殿ダム対策プロジェクトチームを設置することになっている。

本体工事に関しては、仮排水路工事を平成18年3月に完成する予定で、平成18

## 総合支所庁舎の有効利用

谷口 輝男（清和会）

**問** 総合支所は地域振興の拠点として設置されているが、8支所で11の建物・総面積20・048㎡に空き部屋や空きスペースができています。地域住民のためのスペースとして今後どのように活用計画をされているのかお尋ねする。

**答**（市長）空きスペースは、全体的な調整を図りつつ、旧町村単位での検討をする

## 合併協定項目の先送り事項

年度には本体に着工できるような努力していきたい。

のが適当だというのが基本的な考え方である。

生涯学習とか文化活動の

拠点にする、場合によっては商業的な施設に許可を出して入ってもらうというようなことも喜ばれるのではないかなど、いろんな意見がある。各支所からの意見や要望、あるいは地域の方からの声で集約されたものを踏まえて早急に検討したい。検討に当たっては、空きスペース活用の検討のプロジェクトチームをつくらせて議論を深めたいと考えている。

中島 規夫（清和会）

**問** 合併協定項目の中には、調整方針を合併翌年度以降に新たな制度に移行す

るとしたものがあがるが、どのような方法でいつごろを目標に決めるのか。

**答**（市長）新たな制度に移行するということが調整をした事務事業項目が116項目あり、合併時に確認された事務事業項目8項目は既に具体的な制度内容が固まって実施になっている。合併翌年度より及び合併翌年度においてとされた21項目は、来年1月の地域審議会にその内容の具体案を報

## 公文書等の保存管理

谷口 満（市政改革クラブ）

**問** 歴史資料として価値の高い旧町村役場資料について、歴史的資料は鳥取市歴史博物館で保存する、市史編纂室を公文書保存専門室に改変する、本庁も

告し、意見をいただいた上で制度化を図りたい。

残る87項目は、現在本庁と支所の担当者が連携をとりながら、これまでの事業評価の検証や新しい制度内容の検討作業を進めており、検討が進んできた事務事業については、随時支所長会議や地域審議会に報告をして制度内容を固めていき、すべて具体化する取り組みを完結させたい。

総合支所も全職員に対して、文書管理・文書保存の研修を実施する、という提言をする。市長の所見は。

**答**（市長）合併協議の段階で、旧町村保有の文書等は、廃棄することなくすべて保存するという話し合いをしている。歴史的資料を歴史博物館で保存ということについては、やまびこ館

と協議した上で取り組みを決めていきたい。市史編纂室は、現在市史の編纂に向けて資料の整理とか収集に取り組んでおり、公文書保存の専門室というものは目的・趣旨が異

## 協定項目の実施時期等

河村 行康（清和会）

**問** 新鳥取市誕生についての抱負と旧河原町協定項目（河原中学校改築、保育所の統廃合、中核工業団地）の実施時期について伺う。

**答**（市長）さまざまな不安がある反面、期待も大きいということを感じている。各地域が互いに助け合いながら、全体として発展をしていくような鳥取市でありたい。保育園の改築は、新

り、今市史編纂室そのものを公文書保存専門室とする考えはない。職員への研修は、県の公文書館の御協力も得ながら実施し、文書管理の徹底に努力していきたい。

市まちづくり計画の前期に位置づけて検討していく考えである。中核工業団地は、現時点では大変難しい状態になっているが、県とも一緒に進んでいきたい。

（教育長）河原中学校の建設については、学校施設の整備計画は、耐震診断の調査（河原中学校は平成17年度予定）結果に基づき、建物の耐震性能や耐用年数、耐震補強工事における教育環境、緊急度、これらを総合的に勘案して、年次的に進めていきたい。



砂のオブジェ（福部）



河原城（河原）



魚見台（気高）



因幡の傘踊り（国府）



鹿野城跡（鹿野）

### デジタルデバイド (情報通信格差)の解消

房安 光(こう風)

**問** 合併目玉事業としてのCATV網の整備は計画通り実行できるのか。携帯電話不感地区の認定、把握、解消策について、合併協分科会方針どおり実施する予定であるか。

**答**(市長) ケーブルテレビの整備については、平成17年4月に工事着手をし、17年度中に幹線電送路等を整備して、18年4月から順次

サービスを開始する予定となっており、新鳥取市の全域においてケーブルテレビが申し込める体制にしたいと考えている。

(企画推進部長) 携帯電話の不感地区の解消については、合併協議会の情報政策分科会での携帯電話不感地区解消に向けた取り組み方針に基づき、国庫補助事業である移動通信用鉄塔施設整備事業を活用して、県や通信事業者と協議の上、毎年1地区か2地区を目安に年次的に取り組んでいきたいと考えている。

### 予算編成の基本姿勢

上紙 光春(清和会)

**問** 合併に伴う新市の予算のあり方については、旧市・旧8町村双方に格別な配慮が必要であり、新市の一体感を一日でも早く醸成するため積極的な予算編成が重要と考えるが。

**答**(市長) 地域の特徴的な取り組み等については、地域振興特定予算として十分に配慮し、継続性を重視す

る形で確保を図りたいと思っている。地域で既に行われている事業の継続実施は、総合支所から直接予算要求する仕組みを考えている。地域の一体性を醸成するようなソフト事業について、文化・歴史などの地域資源を活用して多くの市民の交流を促進するような事業を合併直後のソフト事業として十分に配慮すべきものと考えている。ハード的な事業でもケーブルテレビの事業、これは情報基盤として情報格差をなくし、新市の一体化

## 教育施策

### スポーツ施設の管理

鶴巻 順(こう風)

**問** 現在、人工芝の技術が大変進歩している。バードスタジアムのメイングラウンド及びサブグラウンド、学校グラウンドにおいて、管理費を踏まえ人工芝の導入を検討してみてもどうか。

**答**(教育長) バードスタジアムは、Jリーグを初めとする日本国内の一流選手が試合をする専用競技場として位置づけられており、Jリーグレベルの大会は天然芝が

を促進できる事業として取り組みを進めていきたい。

### 学校における 防犯対策

松田 重実(こう風)

**問** 学校における防犯対策について、校舎内外の安全点検や通学路及び子供110番の箇所や帰宅後の遊び

り組みを進めていきたい。絶対条件になっている。したがって、人工芝への張りかえは考えてない。サブグラウンドについては、砂ぼこりが、近隣の方々に大変迷惑をかけている現状に対して、根本的な対策をどうするか検討していきたい。学校グラウンドの芝生化は、いろいろ検討したが、定着すれば非常にいいものだと思う。ただ、その過程として、非常に管理が大変であり、管理・養生する組織ができれば、教育委員会としては初期の投資はしていきたいと考えている。

**答**(教育長) 教育委員会で、学校危機管理マニュアルを各学校ごとに作成する指導をし、緊急時に児童・生徒の安全確保を最優先と

### お米の消費拡大

森本 正行(こう風)

**問** 本市の米粉パン給食は高く評価するものであるが、鳥取県産米の消費拡大策として、学校給食における米粉と米粉パンの回数を増やす計画はないか。

**答**(市長) 米粉パンは、市内のスーパリー等でも販売されるようになり、本市の取り組みが給食に限らず、一般のお店でも米粉パンの普及につながったと考えている。(農林水産部長)鳥取県は、

した教職員の初動対応並びに関係機関への初期通報体制がスムーズに行われるようになっている。各学校は常に施設設備の点検を実施し、非常事態の発生を迅速にかつ的確に伝えるため、警報ブザーの設置や緊急放送システムの導入を図るな

どしている。PTAが中心となって地域社会で子供を守るグリーンゾーン活動、あるいは子供110番の家の設置に取り組んでおり、児童・生徒の安全を確保するとともに防犯、事故の未然防止に努めている。

### ニユースポーツ の普及

中西 照典(こう風)

**問** バウンスポールは、高齢者用のスポーツとして考案され、今は市民体育館や産業体育館、各地区体育館で愛好者により普及されて



バウンズボール大会の様子

等にもニュースポーツの種類等はPRしていくが、むしろ社会活動、生涯学習の方で広めていただきたい。主にスポーツレクリエーション祭はニュースポーツを種目とした開催を中心にしてお

いる。鳥取市で考案された「ニュースポーツ」バウンズボールを普及するため、小・中学校の体育の授業に取り入れることはできないか。

【答】(教育長) ニュースポーツは、特に公民館活動の中で広められている。小学校

## 同和教育

上田 孝春(民世会)

【問】鳥取市の同和教育の取り組みが、今日まで果たしてきた役割は非常に大きいものがあると思われる。合併後新市における教育長の

同和教育に対する基本的な認識と考え方について伺う。  
【答】(教育長) 今日同和教育の発展には学校教育が大きな力になってきたと認識している。特に、子どもたちだけの教育ではなく、保護者や地域を巻き込んだ教育を展開してきた面ではかなりの成果があったものと思



鳥取市公民館まつり

公民館職員は専門的な知識や経験、あるいは資格を伴う職種とは考えていない。  
これまで嘱託職員の雇用と更新に年齢とか回数に制限がなかったことで、市民の中からも批判の声があった。厳しい雇用情勢も考え、雇用の機会を広げるといふこと、能力や適性のある方に公民

## 地区公民館職員の採用

入江 順子(こう風)

【問】職員採用の中で、公民館職員は専門的な経験を要する職種に該当し、在任期間5年の制度について例外

【答】(市長) 専門的な知識・経験を伴う職種の例としては、人権問題の啓発・相談などを担当する職員、図書館の支所、保健師などを考えており公募の際にその経験とか資格を明示している。

# 地域振興

ている。同和教育は、子ども

り合える、そういう教育を

## 地域団体の育成強化

国富 三郎(新政会)

【問】地域づくりは人づくり。自治会加入率は年々低下している。阪神大震災で損害の少なかつたのは町内会がしっかりしたところであった。自治会・老人会・NPO法人等の育成強化を図り、地域の活性化に取り組むべきと考えるがいかがか。

【答】(市長) 町内会組織の重要性は、災害時のみならず、日常のいろいろな助け

## 文化芸術振興策

岡田浩四郎(清和会)

【問】市報の政策コメントで、鳥取市芸術文化振興に関する基本方針(案)に対する市民からの意見を求める記事があったが、市民の反応は。また、今後の文化芸術に

【答】(市長) 8人、28件の意見が出ており、そのほか文化団体の皆さんからの直接の声など、総じて基本方針案について前向きに実現してほしいという趣旨の意見である。市民が文化芸術振興に寄せる期待は大きいものと考えており、助成制度については、従来、各市町

村が実施した事業内容を十分踏まえながら、今後に向けて的確な助成を行いたいと考えている。

(企画推進部長) 地域の文化芸術活動を円滑に進めて

### 公民館活動の充実

下村 佳弘(清和会)

**問** 郡部の地域公民館を充実させるために、人員体制を早急に是正すべきと考えるがいかがか。また、来年度以降の予算措置に不安が残るが、その対応策・見通しについて伺う。

**答**(教育長) 地区公民館は生涯学習の拠点としての役割とともに、地域コミュニティ活動の拠点施設としての役割がより増すものと思われる。

いくためには、身近に指導者を得られることが必要であり、鳥取市文化芸術振興に関する基本方針案の中でも、優秀な指導者の発掘と育成を図ることとしている。

地区公民館はそれぞれの地区の伝統的な歴史や特徴がある地区公民館の人員体制については、合併協定の調整方針の通り、地区公民館で行われる事業の量と仕事量がどれくらいあるのかにちて今後考えていかなければならない。平成17年度予算要求に当たっては、従前の事業を行うことを前提に要求することとしているが、厳しい財政状況の折でもあり、鳥取市の方針として食糧費は支出しないという方針もあり、食糧費の扱いについては見送るべきと判断した。

## 防災対策

### 今後の災害対策

高見 則夫(新政会)

**問** 地域防災計画の合併町村との格差見直しと、台風21号・23号による千代川河川敷内農用地の早期復旧及び今後の災害対策について

市長の考えを伺う。

**答**(市長) 新鳥取市として、地域を越え、統合された新しい地域防災計画を早急に取りまとめていきたい。

大きな水害が発生する可能性を再認識し、河川情報、水位の変化や上流の降雨に関する情報を早期に収集し、避難勧告(指示)を的確に行われるよう努めること、及び避難所の見直し検討が必要と考える。

### 地域力の向上

桑田 達也(公明党)

**問** 地域力低下が危惧される。防災面からも住民相互



防災訓練でのバケツリレー

の「共助」は欠かせないが、今後の自治能力向上のための施策を伺いたい。  
**答**(市長) 地域力の1つのバロメーターとして考えられるのが、地域の基盤である自治会である。町内会の加入率が低下してきており、こうした傾向が地域力低下のあらわれでもあると思う。地域での活動を活発にするため、17年度から自治会活動の活性化支援制度を創設したいと考えている。町内会・集落単位の集会所に対する補助制度

(総務部長) 総合支所間で対策の格差が生じないように、自主防災活動の一層の充実と、各総合支所管内を越えた広域的な旧町村消防団の連携を図っていく必要がある。

(農林水産部長) 12月補正予算に災害復旧費を計上しており、年明けから順次復旧工事を発注し、来年の田植えには間に合わせたい。

### 危機管理

福田 泰昌(清和会)

**問** 災害発生時に即応した情報の伝達方法並びに情報をいち早く大勢の市民が共有するという大前提での新鳥取市広域CATV網整備事業の完成後の具体的な施設管理、及びその運用に要する費用について伺う。

**答**(市長) 高齢者など連絡を受けても人の助けがないと避難ができない方々もあり、情報伝達・避難の支援には、やはり人の手に頼る

し、地域のホームページ作成活動を支援している。平成17年度から平成18年度にかけて全ての地区公民館がホームページを開設することを検討したいと考えている。

ところが大きいと考える。一般的には、災害情報などの伝達は、旧町村で整備された既設の防災行政無線と有線放送設備を活用していきたい。

(企画推進部長) 新鳥取市の広域CATV網整備事業は、公設民営型で行う予定である。市内の通信事業者には2社があるが、整備工リアを分割し、この2社にそれぞれのエリアの運営を任せたいと考えている。管理に要する経費については、事業者の運営と行政の負担を現在協議中である。

### 台風後のゴミの始末

松本 信光(こう風)

**問** 台風21号・23号の大雨による千代川の増水は、海岸線に大量のゴミの山を残

した。台風後かなり経つがゴミの始末はどのような対応をされるのか。

**答**(市長) 海岸に漂着したのみは、千代川の河口両岸付近が非常に多かった。十六本の松の海岸から砂丘海岸の一部の地域については、県と市の

職員による分別作業、鳥取県建設業協会東部支部で集積作業、今後は順次撤去作業を行い焼却処分をしていく。(環境下水道部長) 海岸へ漂着したごみも大量であり、県との協議で、腐敗等生活環境保全上支障が生ずる恐れがある場合は、海岸での焼却もやむを得ないと

## 高齢者福祉

### 温泉浴室「白砂」

村口 英子(共産党)

**問** 職員会館白砂における高齢者の温泉利用廃止について、12月28日廃止を当面見送ってほしい旨の要望書が白砂利用者の会世話人から、署名を添えて提出されているが、ことをどう受け止めているか。

**答**(副市長) 本格的に寒くなるという時期に廃止することはやめていただきたいという要請もあり、廃止の方針自体を変えることは困難だが、廃止の時期を少し

いう結論を得た。しかし、地域環境の保全、航空機に対する運行支障、住民感情等の観点から検討した結果、相当の期間を要すが、海岸での焼却はやめ、分別した上でごみ焼却施設において焼却処分したいと考えている。

延ばす方向で鳥取市職員互助会と協議していきたく考えている。

(市長) 利用者のいろいろな思いはお聞きし、状況についても理解はしているが、この施設は公共の施設として利用に供する施設ではなく、あくまで職員会館についての暫定的な員外利用を続けてきたものである。今後どういった対応があるのか、利用者の方々の意見を聞いて十分検討していきたいと思う。

### 高齢者のバス定期券

佐々木 紘一(市民クラブ)

**問** 路線バスに係る高齢者向け定期券について、利用者の年齢制限を緩和する措置としてバス定期券への公費助成、共通定期券の発行に関する調整、高齢者バス定期券の広報など、市として検討できないか。

**答**(市長) 日ノ丸自動車では70歳以上、日本交通では65歳以上を対象とした定期乗車券の販売が行われている。70歳の方は65歳まで対

### 介護予防

谷口 秀夫(公明党)

**問** 介護保険制度が介護予防対策重視へと変更予定だが、本市のパワーリハビリテーションの取り組みを伺いたい。

**答**(市長) 筋力の向上トレーニングが介護予防に大きな効果があるということで、いつまでも健康で長く生活していただきたため、

象を広げられないかという点は市としても働きかけをしていきたい。共通で乗れる乗車券について、高齢者の乗車券のいわば新市を念頭に置いた改善版ということと、検討の余地がある内容ではないかと考えており、各社とよく協議して、可能性を明確にしていきたい。PRについては、高齢者がバス利用する上で便利なものであるので、バス事業者ともお話の上で行うべきものと思うが、市報に紹介してよいものだと考えている。

場所とか設備、指導者などの要素を十分に検討して、できるだけ広く身近に活用できるように体制をつくっていききたい。

## 観光関連

### 日曜日のゴミ収集

武田 えみ子(公明党)

**問** 日曜日に駅周辺のメイン通りに集積されたゴミの状況は、観光客を迎える景観とはいえない。どのように認識し改善策を検討しているのか伺う。

**答**(市長) 日曜日とか祝日における事業ごみ集積の問題については、観光鳥取の面からも、以前から本市としても何とか解決をしたいと考えている。これは、一般の家庭から出る一般ごみに対して、事業ごみと言って事

(福祉保健部長) 筋力向上トレーニングは、高齢者の介護予防や自立支援に効果があると言われており、平成17年1月から3月まで、厚生労働省が取り組んでいる筋力向上トレーニングモデル事業を実施するように計画している。事業概要は、介護認定で要支援、要介護1と認定された方10人程度を対象にして、初動負荷トレーニングを1週間に3回、3カ月間実施し、効果等について評価する。

業所から出るもので、事業者の方に持ち出しのルールを守っていただくということが重要である。

市としては、ごみを出す側、ごみを収集する側、その収集されたごみを焼却する側の関係者とも調整を図っており、有料契約で集めていこの事業ごみの取り扱いに限ってはあ



初動負荷トレーニングの様子



日曜日に山積みされたゴミ

が、末広温泉町の一部について試行的に日曜・祝日での収集を平成17年4月まで開始したいと考えている。

### マツタケ増産

吉田 博幸（新政会）

**問** マツタケは昭和50年代後半から収量が減少し続けている。岩手県岩泉町がふるさと創生資金でマツタケ研究所を創設し、1980年代の3倍から5倍の収量になったとか。経済効果と観光誘致の観点からマツタケ増産を積極的に進めてはどうか。

**答**（農林水産部長）先ほど紹介されたマツタケ研究所

### 鳥取城の復元

山崎 健一（公明党）

**問** 鳥取城復元は市民の願いである。鳥取市のシンボルとして、鳥取城の復元を推進する立場から、その期待に今後どう応えていくのか伺う。

**答**（教育長）鳥取城の復元整備については、文化庁の

の収集を平成17年4月まで開始したいと考えている。

が言っているように、マツタケ山の間伐や、根元の徹底した清掃、そついった環境整備によって増産したという例がある。また、今月14日の新聞に、遺伝子研究に取り組んでいる民間企業がマツタケのゲノム、いわゆる遺伝子情報の解読に世界で初めて成功した、そして数年以内に人口栽培に着手したい、という報道もあった。新市には古くからのマツタケ山が散在しており、今後、各方面からのこういった情報に、鳥取市としても着目していきたいと思っ

きたいと思っ

指導や助言を踏まえ、昨年度から史跡鳥取城跡保存整備基本計画の策定に取り組んでいる。本年度は、石垣などの基礎資料調査を実施するとともに、基本計画の検討委員会を立ち上げる

こととしており、第1回検討委員会を年明け1月に開催する準備を進めているところである。平成17年度には広範な市民の方々の意見をお聞きする機会をつくり、

その意見を参考にしながら、17年度末までには基本計画を策定したいと考えている。今回の史跡鳥取城跡保存整備基本計画では、明

## 財政問題

### 予算の執行状況と決算見込み

山下 武雄（新政会）

**問** 今年度各会計別の予算執行状況と決算見込み、明年度の予算編成方針における主要施策と予算配分及び予算規模ほどの程度を想定しているか伺いたい。

**答**（市長）極めて厳しい状況を踏まえ、原則10%削減を基本と考えている。主要施策、予算配分等についてははまだ段階が早い

### 三位一体改革の意味するところ

森田紘一郎（市民クラブ）

治に取り壊された櫓や門など城郭の諸施設の復元整備を視野に入れた検討をしていきたいと考えている。

て、18年4月からは全地域で供用できるようにしたい。予算規模は、一般会計で900億円程度の当初予算規模になる見込み。

（総務部長）10月末現在の予算執行状況（旧鳥取市分）は、一般会計36.4%、特別会計36.7%、企業会計水道事業が26.9%、病院事業48.2%、介護老人保健施設事業が51.5%。決算見込みは、予定どおりの額が国・県等から配分されることになれば、一般会計、特別会計とも赤字で決算できるものと考えている。

**問** 三位一体は一方で地方自治のあり方、地方自治体の財政運営が論じられている。無駄をなくする手法が求められている。財の投入

（input）何を作るか（output）とその評価（outcome）を想定し、なおかつその道程には財政主要指数の目標設定が肝要と考えるが如何か。

**答**（市長）本市としては、税源移譲額が補助金削減額より少なくなるであろうと思われる。経費の削減と、限られた財源を有効に使い最大の効果を最小の費用で上げていくような考え方を特に重視しなければなら

ない。必要に応じて検討していきたい。

## 水道問題

### 指名停止

角谷 敏男（共産党）

**問** 浄水場建設、膜ろ過施設について基本協定を結ぶうとしている業者の役員が贈収賄の疑いで逮捕された。こうした企業と基本協定を締結することについてどう考えているのか。

**答**（水道局長）逮捕された執行役員は商法上使用人に当たり、一の事件は本市水道局の指名停止の要件には該

いと考える。

（企画調整監）今後予想される本市の厳しい財政状況の中で、インプット指標、アウトプット指標、さらにアウトカム指標等の手法を用いることは、限られた行政資源を効率的に活用するためにも有効であると考えている。今後これらの指標の導入について、必要に応じて検討していきたい。

当しいと解釈している。指名停止の状況について、全国の情報収集しており、鳥取県及び鳥取市の解釈も参考にしながら見きわめていきたい。

（市長）制度上は、各部署に設ける指名審査委員会の方で公正な議論をすることになっている。指名停止の扱いについて公正・厳正を期すべきと考える。

鳥取市における指名審査委員会を開いて、指名停止をするかどうか検討をし、できるだけ早く結論を出したい。

## 浄水場建設問題

寺垣 健二（市政改革クラブ）

**問** クリプトスポリジウムの感染リスクについて、鳥取市民が感染した事実は未だに聞いたことがない。もっとわかりやすく市民に説明する責任があると思うが。

**答**（市長）原水中のクリプト10リットルあたり1個入っている状態であれば、1日1人が1リットル水を飲むと考えた場合に、1年当たりの感染率は10万人当

その他

## 医療ミス防止と対策

両川 洋々（民世会）

**問** 手術室が密室であることが原因で全国的にトラブルが発生している。医療情報を共有するため、手術室を患者家族にもモニターを通して公開してはどうか。

**答**（病院事業管理者）現在、



市立病院の全景

たり1万5、000人になり得る。その根拠としたものは、水道におけるクリプトスポリジウム暫定対策指針等に関する質疑応答集及び厚生科学審議会答申書にある水質基準の見直し等に添付された、WHO提唱の参考許容値を説明する表に掲載されている。確率の計算は別にして、水道原水からクリプト菌が検出されたらクリプトに汚染されるおそれがあると判断して浄水処理の対策をとるといのが厚生労働省の考え方であり、そうしたことも踏まえて取り組みを進めている。

1室だけでもということもあるが、現状では患者家族の立場に立ったインフォームド・コンセントを徹底することが重要であると考えており、日ごろから丁寧にな得が得られる説明を行うよう指導している。

患者家族へ手術ビデオを

## 鳥取中央変電所建設問題

村山 洋一（新政会）

**問** 中国電力がこの変電所建設の用地交渉を始めてから6年も経過している中で、変電所建設地決定のため、市は遷喬小隣地変電所建設反対協議会と代替地案3地区の関係住民全体との協議・調整が必要と考えるが、市長の見解を伺う。

**答**（市長）遷喬小学校の隣接地に変電所が建設されることがないようにするため、

提供する件に関して、現在、厚生労働省が患者家族からの手術の公開のアービュルを受けて、本年度中に手術ビデオ提供の研究班を設置し検討を開始すると聞いている。この指針が示された時点でその内容を検討したいと考えている。

住民の皆さんの声にこたえて代替地ということを考えて行動を始めた。3つの候補地となる土地を事業者や住民の皆さんに提示して絞り込みを行った。検討の中には地域住民代表として、自治連合会会長、反対協議会会長、遷喬小学校PTAの部長などがいらっしゃるが、3地区住民代表の方々の話し合いも大変重要なことであると考えている。なお、解決に向けて必要がある場合は、私自身も話し合いに参加して取り組みを進めていきたいと考えている。

## DV（ドメスティック・バイオレンス）被害者の自立支援

田村 繁巳（公明党）

**問** DV（家庭内暴力）被害者の自立支援について、住宅、就労、子どもの養育、

心のケアについて、市の取り組みと考え方を伺う。

**答**（人権政策監）市営住宅の入居について、優先入居の対象として、今後DV被害者も加えて支援していきたいと考えている。就労については、現在行っている雇用アドバイザーによる相談業務や、本年10月に開始した、母子家庭の母などを対象とする鳥取市無料職業紹介所の制度を活用して就職のあつせんをしていく。D

## 議員提案事項への対応

秋口 政俊（こつ風）

**問** 議会での議論・議員からの提案事項を執行部は重く受け止め、政策に反映させていくべきである。議員提案への対応状況・進捗管理について、公開も含め検討すべきと思うが、市長の所見を伺う。

**答**（市長）議会が終了後、議会答弁に対する対応をまとめ、政策調整会議等で各部長とともに今後の対応をチェックすることにして

V被害者の子供の養育については、就学前の児童の場合、保護者の希望により、保育園の入所について、必要性が高いものとして優先的に受け入れている。心のケアが必要な被害者については、本市が設置している家庭相談員による支援を行うとともに、必要によって県の婦人相談所の心理療法担当職員に依頼してカウンセリングを実施している。

いる。財政課が議会答弁後の対応状況というものを取りまとめ、今後の取り扱いなどについて方向づけをしている。担当課で対応を検討し、政策調整会議、部長会議レベルで意見交換を経て、共通認識を持って取り組んでいる。これからフォーローする体制をさらに強化することについて議論して、議員から出された意見と、その答弁、対応方針をホームページに載せるかどうか、どういふものを、どこまで載せるのかということとを前向きに検討したい。

## 委員会報告

各常任・特別委員会が定例会中に開催され議案や請願に対して活発な論議が繰り広げられました。

議案付託が行われた4つの常任委員会の審議の中から主な内容を紹介します。

### 総務委員会

合併後の普通地方交付税の額及びその内訳、特別交付税の額及び歳入時期、消防施設債から過疎対策事業債へ借り替えとなる消防施設整備事業の内容等についての質疑応答が行われた。

### 文教経済委員会

駅南庁舎二階の新市立中央図書館オープンに向け、この機会にサービス向上を図るため、開館時間、休館日、職員数、一階との連携、セキュリティ対策を検討された。

相次ぐ台風による災害復旧について、国・県と連携し、林道等における小災害にも迅速な調査・対応をされたい。

### 企画福祉委員会

補正予算一般会計・特別会計・企業会計全般に及ぶ質疑応答がなされ、補修工事に係るものについて、工事の方法と耐用年数などその投資効果を審議した。保育所用地取得に関連して、送迎時における交通安全確保対策の推進を求めた。

### 建設水道委員会

安全で清浄な水を確保し、水道水の安定的な供給を図ることを目的に、水道水源の保全区域を指定し、排出水の基準等を定める水道水源保全条例(案)を可決すべきものと決定した。

湖山地北岸の芝広場グリーンフィールドに公衆トイレの設置を求める請願について、維持管理の問題や他の公園との公平性などを考慮する必要がある、引き続き調査するため継続審査とする。

閉会中活動していた2つの特別委員会から審査報告がなされました。なお、今定例会をもって、旧ダイエー調査特別委員会は審議を終了しました。

### 旧ダイエー調査特別委員会最終報告

旧ダイエー鳥取駅南店(現駅南庁舎)の取得を含めた活用について調査・検討する目的で平成16年1月に設置され、3月定例会で旧ダイエー跡地を取得すべきとする中間報告を行った。6月8日、執行部より図書館として利用する旨の再提案があり、以後図書館としての利活用の是非を中心に検討した。

現位置での図書館整備は? 現在の市立図書館と隣接することも科学館等を含めて活用すれば利用スペースが広くなり、合併後の中央図書館としての機能を持たせられるが、現在の図書館に科学館部分を取り込んで7年後には収蔵能力に限界がくる。また、館内が1階から3階に分かれてしまいい蔵書管理に係る職員配置の効率が悪いこと。旧ダイエー跡地を利用した場合は収蔵能力も40万冊と倍増し、最低20年間対応できること、ワンフロアになり効率がいい。

旧ダイエー跡地以外で独立館として整備は? 合併後の中央図書館として、旧ダイエー跡地を利用した方が経費の節減となり、なおかつ中心市街地の図書館として立地条件がよい。構造上の問題は? 店舗利用していた建物を図書館利用する場合、その重量に耐えられるかという問題と天井の高さについて、強度的には書架の高さを低くし荷重を減らすことでクリアでき、天井の高さも50cm程度高くできることが確認できた。

合併特例債の適用は? 公共施設なので対象となるが、10月補正に計上する必要があり、8月中には具体的な計画を県と協議しなければならぬ。8月6日の特別委員会では図書館としての活用が賛成多数で決定し、合併後の図書館整備計画を新市まちづくり計画に盛り込むこと、図書館は文化性の面でまち

の核となる施設であり、旧町立図書館を地域館として整備するなど、専門家を含めた鳥取市図書館協議会で早急に協議するよう要望した。

6階については、市民からの要望もあり、スポーツ施設としての利用案を承認した。駅南庁舎が新鳥取市の住民の利便性の向上、行政サービスの向上に寄与することを願う最終報告とする。

### 中心市街地活性化特別委員会中間報告

本市では、平成11年3月の真教寺公園・旧鳥取銀行跡地・商工会議所の建て替え・旧市立病院跡地を核とする基本計画が策定され、平成16年3月社会情勢の変化を踏まえ、城下町・温泉・都心居住など新しい要素を盛り込むなど軌道修正がなされてきた。

真教寺公園について 当初計画の公園周辺も含めた拡充に至らなかったもののリニューアルされた。今後とも市民に親しまれ、利用しやすい公園の拡充に努められたい。

旧鳥取銀行跡地について 弥生にぎわい拠点施設として、本通り商店街が事業主体となりTMOが支援する体制で、平成17年3月の開業に向けて、現在工事が進められているが、本事業が成熟したものになるよう提言する。

一、拠点施設として完結するのでなく、弥生公園の整備等々、周辺との連鎖的効果が期待できるような仕掛けづくりの拡充

一、子ども、女性、高齢者、また障害者などの視点を取り入れたソフト事業の展開

一、地元商店街の活性化意識のさらなる高揚

一、他地区の商業施設と住み分けを図るためにも、鳥取の文化、歴史、地産地消など、鳥取らしさを強調した特色づくり

一、商工会議所の建替えについて 地場産業の拠点として、商工会議所において検討が進められている。来春にはSPC方式による建設計画の正式発表があるものとしており、今後とも会議所と連携を図りながら、本町周辺整備計画の推進に向けて

努力してほしい。

旧市立病院跡地について  
過去本議会において、生涯学習機能を有する複合施設として活用されるよう、平成10年に提言したが、その後の進展はない。

新鳥取市が誕生した今後は、旧町村の住民も含めた20万都市の新しい枠組みにおいて再度検討した上で、早期に計画を策定されるよう求める。

中心市街地の活性化は商業機能だけを活性化することではない。今までの施策に足りなかつたものは、その地域に根ざした生活文化を基盤としたまちづくりと活性化を思う強い熱意である。まちなかまちづくり市民活動促進事業のようなソフト事業を充実し、より市民活動の起こしやすい環境を醸成することが必要と考える。新鳥取市が一体となり、都市核としての使命を受ける約165ヘクタールの区域にぎわいが創出され、さらに市域全体に波及し、「人が輝きまちがきらめく快適環境都市」が実現されることを期待し中間報告とする。

## 行政視察報告

議会活動の一層の充実と住民ニーズに応えるため、先進都市の優れた行政施策などを視察し、まちなかに役立てていきます。

### 中心市街地活性化特別委員会視察報告

期日

平成16年11月9日～11日

参加者

橋尾、山下、村口、上田、森田、寺垣、入江、吉田、谷口秀、中西、桑田、鶴巻

視察先

奈良県王寺町  
静岡県掛川市

目的

郊外大型店の進出による商業都市機能の衰退化に伴う商店街の活性化について  
城跡・町並みをはじめとする歴史的景観の整備と観光振興について  
視察状況

奈良県王寺町では、王寺駅前市街地再開発事業によって竣工した住宅・店舗・公益的施設などを包含した都市型複合的施設「リーベル王寺」の現況について視察を行った。この事業は、町総合計画の基本構想に基づき平成13年6月に着工、あわせて周辺道路や下水道

## 陳情

今定例会で結果が出た陳情は次のとおりです。

### 採択となったもの

- 米飯学校給食回数の増加についての陳情
- 「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する意見書提出を求める陳情
- WTO・FTA交渉に関する意見書提出を求める陳情

### 趣旨採択となったもの

- 郵政民営化に対し、郵政事業における国民へのサービス向上とユニバーサルサービスの確保に関する意見書提出を求める陳情

### 不採択となったもの

- 自衛隊をイラクから撤退させ、憲法9条を守ることを要求する意見書提出を求める陳情
- 消費税の大増税及び定率減税縮小に反対する意見書提出を求める陳情
- 「三位一体改革」に関する意見書提出を求める陳情
- 公共下水道に関する業務委託についての陳情
- 鳥取県地方最低賃金の引き上げと最低賃金制度の抜本改正を求める意見書提出についての陳情
- 「国民保護法」「米軍行動円滑化法」など所謂有事関連7法に関わって、自治体の意向尊重と「思想・信条の自由」の保障・非核三原則の反映を要求する意見書提出についての陳情

## 人事 同意

### 人権擁護委員

西尾美智子氏（再任）  
楠城 孝氏（再任）



王寺町：リーベル王寺（東館）

整備などを行ったもので、この度新しく地域・住民交流の場としてリニューアルされたものである。JR王寺駅と近鉄王寺・新王寺駅が隣接し、駅前北口に、東館・西館の2館が併設されている。中でも東館5階の「王寺町地域交流センター」は、生涯学習や住民相互の交流の他に、行政の窓口サービス、健康増進のための検診や相談など、通勤途上や買い物などの合間でも気軽に立ち寄れる住民のためのサービスが提供されている。主な施設としては、役場の出張所として「住民

サービスステーション」や、各種検診や診察、健康相談などが受けられる「保健センター」、子育て相談や子供と保護者間の交流が図られる「すくすくひろば」などの少子化対策機能を兼ね備えた教室も整備されている。また、駅ビル保育園として認可を受けた「黎明保育園分園」は、仕事と家庭の両立を希望する住民の心の強い施設といえる。

静岡県掛川市では、掛川城を中心に行われている掛川市城下町風町並みづくり事業について、美しい都市景観の形成と、地域経済の活性化の取り組み状況の視察を行った。この事業は、「天守閣復元事業」と「駅北土地画整理事業」を融合させ、これまでのような画一的な面的整備だけではなく、「にぎわいと伝統の調和した風格あるまち」をテーマに着手されたものである。学識経験者などからなる実施計画策定委員会を設置、平成4年3月に掛川市城下町風街づくり計画」を策定して城へ続く道路舗装の仕様から沿道建物・店舗の意匠にいたるまで詳細な景観形成上の補助金交付基準を設けている。また、街全体で歴史的な城下町の

雰囲気醸し出すよう駐車場や観光物産センターはじめ鍵曲がり道路等を整備したり、個人が行う城下町風建築物の外観整備について市より最高100万円を限度に補助金が交付されている。これにより平成6年4月3日の掛川城天守閣開門以来登城者が100万人に達し、買い物、飲食に訪れる地元住民はもとより城下・街並みを散策する観光客で賑わいを見せている。



掛川市：観光物産センター「こだわりっば」

# 提出議案とその結果

## (12月定例会)

区分	議案番号	件名	結果
予 算 (16件)	第320号	平成16年度鳥取市一般会計補正予算(第5号) (補正前 82,572,223千円 補正額 2,738,192千円 補正後 85,310,415千円)	原案可決
	第321号	平成16年度鳥取市下水道事業費特別会計補正予算(第3号) (補正前 10,962,201千円 補正額 12,431千円 補正後 10,949,770千円)	原案可決
	第322号	平成16年度鳥取市簡易水道事業費特別会計補正予算(第3号) (補正前 910,032千円 補正額 60,389千円 補正後 970,421千円)	原案可決
	第323号	平成16年度鳥取市国民健康保険費特別会計補正予算(第3号) (補正前 12,449,499千円 補正額 21,296千円 補正後 12,428,203千円)	原案可決
	第324号	平成16年度鳥取市老人保健費特別会計補正予算(第3号) (補正前 15,349,665千円 補正額 40,044千円 補正後 15,309,621千円)	原案可決
	第325号	平成16年度鳥取市高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費特別会計補正予算(第2号) (補正前 31,094千円 補正額 0千円 補正後 31,094千円)	原案可決
	第326号	平成16年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計補正予算(第2号) (補正前 286,542千円 補正額 0千円 補正後 286,542千円)	原案可決
	第327号	平成16年度鳥取市土地取得費特別会計補正予算(第2号) (補正前 57,339千円 補正額 5,654千円 補正後 62,993千円)	原案可決
	第328号	平成16年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算(第2号) (補正前 51,781千円 補正額 0千円 補正後 51,781千円)	原案可決
	第329号	平成16年度鳥取市集落排水事業費特別会計補正予算(第3号) (補正前 3,124,580千円 補正額 304,122千円 補正後 2,820,458千円)	原案可決
	第330号	平成16年度鳥取市介護保険費特別会計補正予算(第3号) (補正前 8,124,974千円 補正額 26,167千円 補正後 8,151,141千円)	原案可決
	第331号	平成16年度鳥取市財産区管理事業費特別会計補正予算(第2号) (補正前 9,491千円 補正額 219千円 補正後 9,710千円)	原案可決
	第332号	平成16年度鳥取市温泉事業費特別会計補正予算(第2号) (補正前 185,994千円 補正額 19,414千円 補正後 166,580千円)	原案可決
	第333号	平成16年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計補正予算(第2号) (補正前 43,572千円 補正額 38,517千円 補正後 82,089千円)	原案可決
	第334号	平成16年度鳥取市水道事業会計補正予算(第4号) (補正前 5,627,758千円 補正額 10,000千円 補正後 5,637,758千円)	原案可決
	第335号	平成16年度鳥取市病院事業会計補正予算(第1号) (補正前 8,758,881千円 補正額 4,568千円 補正後 8,763,449千円)	原案可決
条 例 (4件)	第336号	鳥取市水道水源保全条例の制定について (水道水源の保全のため、保全地域内の対象事業場に排水基準を設定し、遵守義務を科す)	原案可決
	第337号	鳥取市佐治町地域活性化センター設置及び管理に関する条例の制定について (施設の供用開始に伴い、条例を制定する)	原案可決
	第338号	鳥取市保育所条例の一部改正について (来年度の指定管理者の公募を行うため、市立保育園の管理委託について条文を追加する)	原案可決
	第339号	鳥取市都市公園条例の一部改正について (都市公園法の一部改正に伴い、都市公園内の工作物等の除去に係る手続きと所要の規程を整備する)	原案可決
そ の 他 (10件)	第340号	鳥取県東部広域行政管理組合規約の変更について(八頭東部3町の合併に伴う規約改正)	原案可決
	第341号	八頭環境施設組合規約の変更について(構成市町村の脱退・加入に伴う規約改正)	原案可決
	第342号	鳥取市立松保保育園の指定管理者の指定について(指定管理者:社会福祉法人鳥取福祉会)	原案可決
	第343号	鳥取市立久松保育園の指定管理者の指定について(指定管理者:社会福祉法人あすなろ会)	原案可決
	第344号~345号	工事請負契約の締結について(鳥取市立浜村保育園、鳥取市立ひかり保育園改築工事)	原案可決
	第346号~347号	業務委託に関する基本協定の変更について (鳥取市公共下水道千代水クリーンセンター、秋里下水終末処理場建設工事に係る業務委託の契約金額変更)	原案可決
	第348号	人権擁護委員候補者の推薦について(平成17年2月28日任期満了 2名(西尾美智子、楠城孝)再任)	同意
第349号	専決処分事項の報告及び承認について(平成16年度一般会計補正予算。平成16年11月1日専決)	承認	
議 員 提 出 (5件)	第22号	鳥取市議会委員会条例の一部改正について(議会運営委員会の委員定数を10人から11人に変更)	原案可決
	第23号	高齢者虐待防止法の制定を求める意見書の提出について	原案可決
	第24号	大規模災害の対策と早期復旧に関する意見書の提出について	原案可決
	第25号	「食料・農業・農村基本計画」の見直しに関する意見書の提出について	原案可決
	第26号	WTO・FTA交渉に関する意見書の提出について	原案可決

## (1月臨時会)

条 例	第 1 号	不動産登記法等の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について (不動産登記法等の施行に伴う現行条例中の用語の整理等)	原案可決
その他	第 2 号 ~ 3 号	財産の取得について(鳥取市立中央図書館移転に伴う備品整備)	原案可決
議員提出	第 1 号	中心市街地活性化に関する調査特別委員会の委員定数の変更について	原案可決

次回定例会の予定

3月7日(月)~3月23日(水)

この日程は変更になる場合もあります。